

1600	慶長5年	関ヶ原の戦い	
1582	天正10年	本能寺の変 8月26日、直虎(次郎法師)没。万千代、元服し、井伊兵部少輔直政と名乗る。	井伊家伝記
1578	天正6年	直盛の正室(新野左馬助妹・祐椿尼)没。	
1575	天正3年	長篠の戦い 虎松、徳川家康へ出仕する。徳川家康が虎松に万千代の名を与える。	井伊家伝記
1572	元龜3年	三方ヶ原の戦い	
1568	永祿11年	逃がす。 龍潭寺の南溪和尚が虎松(8歳)を三河鳳来寺へ	井伊家伝記
1565	永祿8年	直盛の娘・次郎法師、幼い虎松の後見人として直虎と名乗り井伊家当主となる。	井伊家伝記
1564	永祿7年	新野左馬助、中野信濃守、引馬城攻めで天間橋(現在の浜松市東区安間町の辺り)で討死する。	井伊家伝記
1562	永祿5年	新野左馬助が今川氏真に、直親(虎松の父)には異心が無いことを弁明するが、今川氏重臣により掛川城下で誅殺される。虎松は、新野左馬助に命を助けられ、井伊谷の新野家で養育される。	井伊家伝記
1561	永祿4年	虎松(後の井伊直政)が生まれる。	井伊家伝記
1560	永祿3年	桶狭間の戦い 井伊直盛、今川義元と共に戦死する。	

### 「直政」命の恩人

永祿3年(1560)、桶狭間で織田信長との戦いに敗れ、今川義元と共に直虎の父である井伊直盛も戦死しました。これにより、井伊家の家督を直盛のいとこにあたる井伊直親が継ぐこととなります。そのころ桶狭間の負け戦で今川家は家臣が次々に離反していったため、井伊家家老小野但馬守が「直親が松平元康(後の徳川家康)に寝返り攻めてくる」というありもしないことを告げ口すると今川氏真は信じ、直親は掛川城下で今川家の重臣に殺害されてしまいました。直親の子・虎松にも誅殺(※)の命令が下されることになりました。ですが、新野左馬助が自分の命に替えて虎松の命を助けてほしいと懇願し、それが許され養育することとなりました。この虎松は、後に井伊直政と名前を変え、徳川四



王と称された人物で、新野左馬助は、井伊家最大の危機を救った功労者として後々までたたえられています。  
※誅殺：罪をとがめて殺すこと



#### ワンポイント豆知識

「左馬助」や「因幡守」「但馬守」などは役職名。新野左馬助は親矩が名前になります。



新野家 家紋



井伊家 家紋